

# 自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号  
URL http://www.jaichi.jp TEL(052)916-2251  
Eメール info@jaichi.jp FAX(052)916-2308

## 2021.5.25 No.1246

発行責任者 林 達也 定価10円  
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

愛知県本部女性部定期大会 記念講演  
**ジェンダー平等社会への歩み**  
講師: 笹原 恵さん(静岡大学情報学部教授)

7/31  
(SAT)

○13:30~労働会館本館  
(名古屋市・金山)

※ZOOM参加可能!詳しくは県本部まで

# 住民要求と職場要求実現を車の両輪に!



コロナワクチンへの対応など、職場では、日々奮闘が続いています。自治労連愛知県本部では、女性部学習会や東海自治体学校、自治労連全国集会での学びや討議で、「コロナ禍でも知恵を使い工夫をしながら、歩みを止めない取り組みを進めています。」

## 女性が働き続けるために

### 県本部女性部オンライン学習会

5月15日、県本部女性部は、生理休暇や母性保護制度などをテーマにオンライン学習会を開催し20名が参加しました。3つの講座を女性部役員とOBが分担した手作りの学習会です。

講座①は菊池真梨梨さん(豊橋市職労)が担当。男性社員の比率が高い民間会社での女性が働きやすい環境づくりを紹介しました。この会社では、社員の提案で生理休暇有給化、社内トイレへの生理用品設置を実現。会社

全体で生理そのものへの理解を深めるため、男性社員も含めた「生理研修」もされ、生理休暇の取得を促進しました。

講座②は酒井文子さん(OB)が担当。女性労働の歴史と共に母性保護の必要性について解説。「女性の生涯の健康を確保し、母体と子どもの命を守り、はぐくむ。そして女性の働き続ける権利を保障するために母性保

護は大切」と話しました。講座③は荒川忍さん(名古屋市職労)が

、県内の母性保護制度・子育て支援制度について、春の自治体キャラバン(2面)でのアンケート回答から現状と課題を解説。妊産婦休息や通勤緩和などを制度化していない市町村が多いことを指摘。「制度そのものがない、制度があっても取得しづらい、会計年度任用職員はほぼ無給であるなど、色々な現状がある。制度は「育てる」もの。取得する方も、その職場の職員もwinwinになる制度にしていこう」と語りました。

## 参加者の経験談

☆私は生理のとき、30分~1時間ごとにナプキンを変えないといけなくらい出血量が多い。膣内に血液が貯留すると婦人病のリスクが高まるので不安。リラックスして、処置がしやすい環境がほしい。

☆看護師として3交代勤務をしながら3人の子どもを育てた。大きなお腹を抱えて夜勤は辛かった。2人目は切迫早産で入院。流産や体内死産も経験した。産前8週は絶対に必要です。

# コロナの中で、「何ができるのか」

### 第47回東海自治体学校

### 自治労連主催「こんな地域と職場を作りたい運動」全国交流集会

5月16日、労働会館(金山)で「コロナ禍だからこそ語り合おう!憲法を生かし、いのちと暮らしを守る自治体」をテーマに、第47回自治体学校が開催されました。(自治体職員、研究者、住民など、全体で会場97人、リモート80人参加)



東海自治体学校分科会に参加する田中康秀さん(左写真右側)と小川直子さん(右写真)

前日15日は、自治労連主催「こんな地域と職場を作りたい運動」全国交流集会(オンライン)が開催されました。京都府職労は、コロナ禍での府民のくらし・

住民の暮らしの実態をいかに見聞きし、困りごとや要求をどう把握するかが、自治体で働く私たちの課題です。

この2つの取り組みで共通していたのは、住民の中に飛び込むことに不安があったが、声を聞きに回ることに感謝される場面もあり、実際に話してみることに必要性や重要性を学んだということ。

コロナの中で、「何ができるのか」の議論を進めながら、住民の要求と職場の要求を前進させる取り組みを続けましよう。

公務労働の分科会に参加した小川直子さん(名古屋市職労)は、「コロナ禍で浮き彫りになった自治体の役割。いつ何時でも、市民のいのちと暮らしを守る自治体であるために、何が足りないのか考え続けていきたい」と感想を述べました。初参加の田中康秀さん(春日井市職労)の仕事はごみ収集。「コロナ対策で、職員を二つの班に分けて時差出勤。職場内の密を避けるため、交流もなくなる。班長同士の情報共有などを大事にしている」と話しました。

営業の実態をつかもうと、「商店街」に飛び込んで、売り上げの状況など聞き取り調査に挑戦。(431店舗を訪問、293店舗で対話)愛知県本部は、名古屋市長選挙で、市民から要求を聞き取る「シールアンケート」の取り組みを紹介。

▼大勢のゲストが集まったり、披露宴では食事を共にする結婚式。新型コロナウイルスの感染拡大の懸念がある中で、予定どおり結婚式を開催しているのか、不安な方も多いはず。▼民間のアンケート結果では2020年3月以降予定されていた結婚式のうち、約5割の方が延期を判断した。一方で、コロナ禍でも結婚式を挙げた方の9割以上が満足という結果になっている。▼そんな中、先日、家族の結婚式に参加した。前日の雨が上がり、好天での挙式。コロナ禍の中で無事開催できたことが何よりも嬉しかった。新郎新婦とその家族、会場のホテルも細心の注意を払って準備し、この日を迎えた。広い会場で参加人数を抑え、1卓に3人から5人が着席。食事をするとき以外は常にマスクを着用する。お酒は出しても参加者同士のお酌まわりはできない。▼でも参加した全ての人の笑顔が絶えない。人と人とのふれあいの大切さを感じた一日となった。(E・I)

## 道草



# 「言いたい劇場」 小昔りや子



# 春の自治体キャラバン 時間外通知などが拡大



懇談の様子・稲沢市(上)・一宮市(下)

5月7日、春の自治体キャラバンがスタート。毎年この時期に県内54市町村と愛知県を訪問し、自治体ではたらく職員への賃金・労働条件の改善などを求め懇談をすすめています。

今年も、緊急事態宣言発令に伴い、5月12日以降に訪問が予定されています。事前に各自治体ごとに送付したアンケートの回答からは、職員にとって働きやすい制度や条件を

★公立保育所の時間外勤務についての通知は、豊川市を皮切りに、名古屋、瀬戸市、西尾市がすでに通知しています。今年も東郷町が通知を出したとの回答があり、犬山市、長久手市も通知を予定しています。

★育児取得者を定数外とし、定数を増やさず、代替者に任期の定めのない正規職員を配置する方法も、県内で広がりを見せています。今年も新たに尾張旭市、高浜市、扶桑町でも実現し、知立市では保育職について育児者代替分を一部前倒しして採用しました。

## 労働組合講座

### 働くルールの基本は憲法!

憲法で労働者は「人間らしく生き、働く」権利が保障されています。憲法の趣旨に則って労働条件や労使関係の基準を定めて使用者に守らせる労働基準法や労働組合法など、一連の法律がつくられています。

【第27条1項】国民の「働きたい」という意思をもとに働くことができる権利が保障されています。

【第27条2項】人間らしく生きるための労働条件の基準を法律で定めとされています。

【第28条】労働者が労働組合をつくり、交渉し、団体交渉することが保障されています。



## 組合の大切さ伝えたい!

### 蟹江町職労



執行委員のみなさん

蟹江町職労では、新卒の取り組みとして、組合の紹介パンフレットをリニューアルしました。内容は、組合の意義から、年間スケジュール、組合が勝ち取ってきた労働条件などを分かりやすく解説。B5画面刷で活

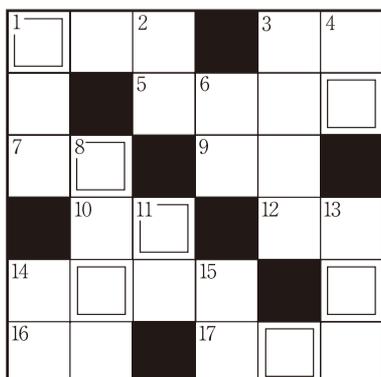
用しやすいサイズです。加藤委員長は、「新卒職員だけではなく、先輩組合員にも組合の存在意義を改めて知ってもらいたくて、忙しくてもサッと見てもらえるように、分かり易く可愛いものにしました」と話します。

左のクロスワードを解き、解答及び名前・組合・職場名をハガキに書いて送ってください。抽選で5人の方に図書カード(500円)を贈呈します。  
〒462-0845  
名古屋市中区柳原3丁目7-8 自治労連愛知県本部教宣部

### コロナに負けるな! クロスワードクイズ

カギを解き、二重枠に入る文字を並べてできる言葉は何でしょう

- 【ヨコのカギ】①真夏 ③仕事を離れ自分の好きに使える時間 ⑤狩人 ⑦一―が転ばぬ先の― ⑨三―を避ける ⑩転ばぬ先の― ⑫サナギが―して成虫に ⑭勝ち気 ⑯水―両用バス ⑰青年よ―を抱け



【タテのカギ】①みごと、全国を果たす ②―住まい、そのめ ③腰のいたみ ④図書―出し、倒れ ⑥―書きそろばん ⑧資格を失うこと ⑪―の下力持ち ⑬―始めること ⑭ピンから―まで ⑮ミナミの対

締め切りは6月30日です。メールやハガキに近況や職場の話、感想や「あいちの仲間」の感想や載せてほしい話など、書き添えてください。



こちらのメールアドレスからでも応募できます。(教宣担当者行き)

●ヘキナンシティカンパニー 二一労組(5月15日)  
委員長 片山 里美  
副委員長 岡本 久栄  
書記長 青山 美佳

### 仲間の声

☆市民向けワクチン摂取の応援や救急外来の手伝いなど、本来の業務以外の事をやらなければいけなくなり、仕事が忙しいです。(青木淳・半田市職) ☆変異株があらわれ対応が変わっていることがわかりました。ストレスなど医療従事者の方の

### クイズ当選者

「あいちの仲間」第1242号のクイズの答えは「ホテルイカ」でした。抽選の結果、以下の5人の方に、図書券をお送りします。

### お詫びと訂正

岩田 尚武(名古屋職労)  
牧野 靖志(豊橋市職労)  
永田 智子(西尾市職)  
久保田あゆみ(長久手市職労)  
中野 善文(豊橋市職労)

あいちの仲間1245号1面右下の写真の説明文において左右がすべて逆になっておりました。お詫びして訂正いたします。

